

親と子、親同士のきずなを深めるPTA活動

下松市立久保小学校 PTA

1 学校地域の概要

PTA会長 原田 幹雄
 学 校 長 甲木真知子
 児 童 数 364名
 会 員 数 310名
 (家庭数280 教職員30)
 所 在 地 〒 744-0061
 山口県下松市大字河内764の3
 TEL 0833-46-0707
 FAX 0833-46-3906
 E mail kcity02t@cronos.ocn.ne.jp



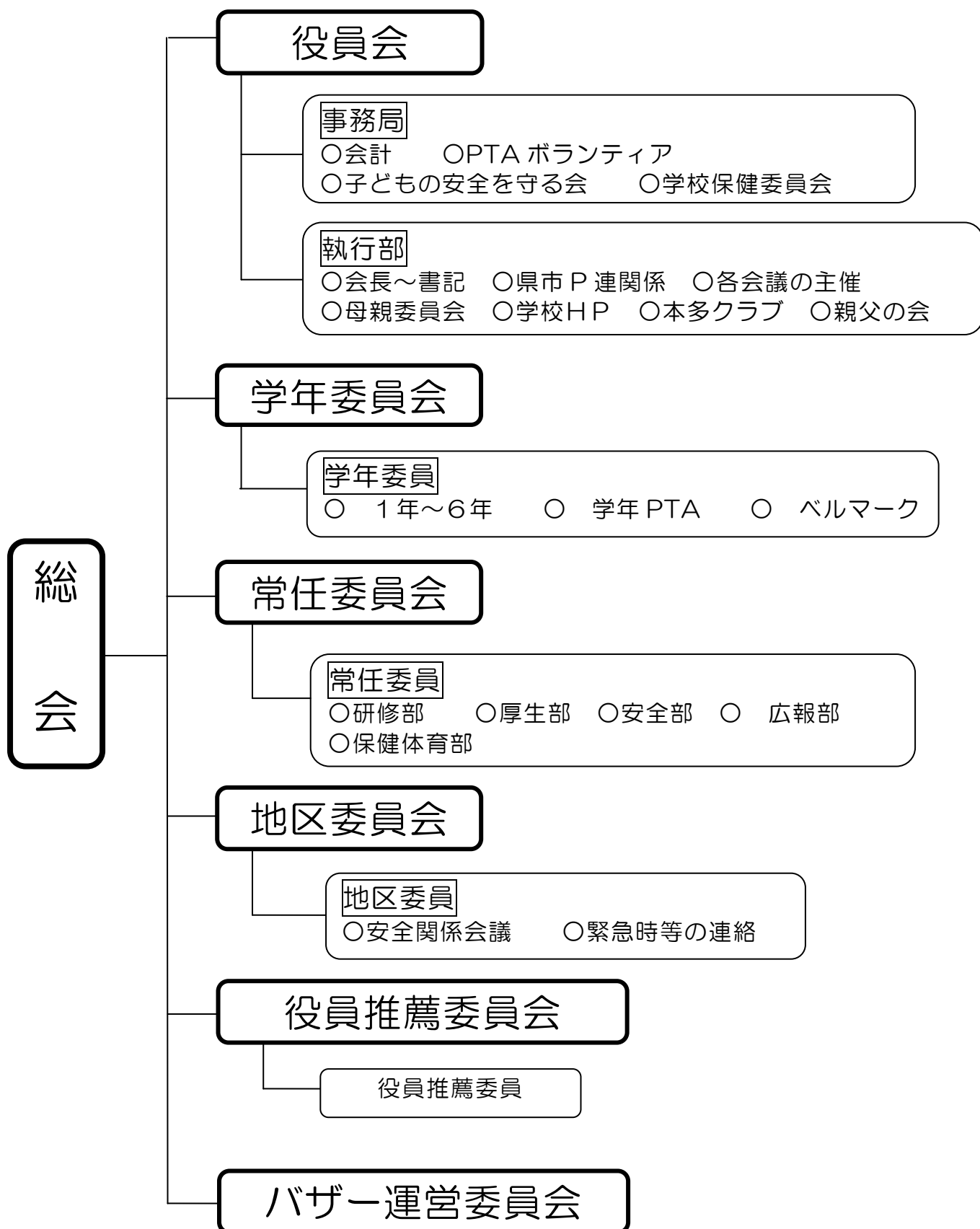
本校は明治17年8月に5小学校を統合して現在の地に東陽小学校として設立され、128年目を迎える伝統校である。

本校区は、下松市の東部に位置し、かつては静かな落ち着いた農村地域であったが、近年、道路の整備に伴い、住宅の建設や郊外型大型店舗の進出、工業団地等の造成が進み、交通事情が著しく変化してきている。また、団地も造成され、人口が増加してきていたが、今は落ちついている。

保護者は、主として周南地域の企業、官庁等に努める人が多く、PTA活動に積極的で、学校教育にも協力的である。

地域住民はまとまりがよく、本校教育に対して協力的である。地域活動も活発に行われており、児童・保護者とも地域活動によく参加している。





平成24年度

P T A

事業計画 1

研 修 部			
○ P T A 研修の企画運営推進に関する業務 ・学芸的行事（コーラス部・教育講演会）の運営 ・P T A 図書管理運営 ・家庭教育学級の計画実施 ・教育講演会・育成バザー・学校保健委員会への参加 ・コーラス交歓会への参加 ・参観日交通整理 ・読み聞かせへの参加			
研修部 活動計画		研修部 活動計画	
月	活動内容	月	活動内容
4	配属会議	11	育成バザー前日準備 育成バザー当日手伝い
5	P T A 総会・引継ぎ会議 第1回常任・学年委員会へ出席 家庭教育学級計画立案 P T A コーラス練習	12	
6	P T A コーラス練習 第1回家庭教育学級 (家族参観日)	1	
7	P T A コーラス交歓会 第2回家庭教育学級 第3回家庭教育学級 第1回学校保健委員会	2	P T A コーラス来年度準備 (歌唱指導の先生と打合わせ) 第3回学校保健委員会
8		3	第3回常任・学年委員会へ出席 第3回学校保健委員会
9	第2回常任・学年委員会へ出席 運動会前日準備	4	P T A コーラス準備 (コーラス部募集要項作成)
10	人権教育指導者研修講座 第4回家庭教育学級		

保 健 体 育 部			
○ 保健活動及び体育的行事に関する業務 ・保健に関する調査と対策 ・学校保健委員会への協力 ・下松一周駅伝への協力 ・教育講演会・育成バザー・学校保健委員会への参加 ・コーラス交歓会への参加 ・参観日交通整理 ・読み聞かせへの参加			
保健体育部 活動計画		保健体育部 活動計画	
月	活動内容	月	活動内容
4	配属会議	11	カラーテスター集計 駅伝部スケジュール作成 育成バザー前日準備 育成バザー当日手伝い
5	P T A 総会・引継ぎ会議 第1回常任・学年委員会へ出席 P T A コーラス練習	12	P T A 保健だより発行 第2回学校保健委員会
6	カラーテスター集計 給食参観試食会(1年) P T A コーラス練習	1	下松一周駅伝
7	P T A コーラス交歓会 P T A 保健だより発行 第1回学校保健委員会	2	第3回学校保健委員会
8		3	第3回常任・学年委員会へ出席 P T A 保健だより発行
9	第2回常任・学年委員会へ出席 運動会 P T A 競技案内 運動会前日準備 運動会 P T A 競技	4	
10	駅伝走者募集		

安 全 部			
○ 児童の安全に関する業務 ・通学路の安全に関すること(地区委員との連絡、調整) ・交通指導当番割当表の作成 ・親子奉仕作業の計画・実施 ・運動会及び公民館行事等の交通指導 ・コーラス交歓会への参加 ・教育講演会・育成バザー・学校保健委員会への参加 ・地区委員会へ出席 ・安全関係会議へ出席 ・参観日交通整理 ・読み聞かせへの参加			
安全部 活動計画		安全部 活動計画	
月	活動内容	月	活動内容
4	配属会議	11	育成バザー前日準備 育成バザー当日手伝い
5	P T A 総会・引継ぎ会議 第1回常任・学年委員会へ出席 地区委員連絡網作成 危険箇所アンケート 第1回地区委員会へ出席 P T A コーラス練習	12	
6	P T A コーラス練習	1	
7	親子奉仕作業案内 親子奉仕作業表作成 足形マーク作成 P T A コーラス交歓会 第1回学校保健委員会 第1回安全委員会へ出席	2	第3回学校保健委員会
8	親子奉仕作業準備・片付け	3	第3回常任・学年委員会へ出席 第2回地区委員会へ出席 交通指導表作成 第2回安全委員会へ出席
9	第2回常任・学年委員会へ出席 運動会駐車指導打合せ 運動会前日準備 運動会駐車指導	4	
10	人権研修の日講座		

広 報 部			
○ P T A 広報誌の編集・発行 ・やまなみ 発行(年3回) ・P T A だより 発行(年2回) ・コーラス交歓会への参加 ・教育講演会・育成バザー・学校保健委員会への参加 ・参観日交通整理 ・読み聞かせへの参加 ○ 県P関係 ・広報紙コンクール参加			
広報部 活動計画		広報部 活動計画	
月	活動内容	月	活動内容
4	配属会議	11	やまなみ編集、打合せ 育成バザー前日準備 育成バザー当日手伝い
5	P T A 総会・引継ぎ会議 第1回常任・学年委員会へ出席 やまなみ編集、打合せ P T A だより打合せ P T A だより発行 P T A コーラス練習	12	やまなみ編集、打合せ やまなみ発行 県P連広報紙コンクール出展
6	やまなみ編集、打合せ P T A コーラス練習	1	やまなみ編集、打合せ P T A だより打合せ
7	やまなみ編集、打合せ やまなみ発行 P T A コーラス交歓会 第1回学校保健委員会	2	第3回学校保健委員会 P T A だより発行
8		3	第3回常任・学年委員会へ出席 やまなみ発行 第3回学校保健委員会
9	第2回常任・学年委員会へ出席 運動会前日準備 やまなみ編集、打合せ	4	
10	やまなみ編集、打合せ 人権研修の日講座		

平成24年度 P T A 事業計画 2

厚生部			
○ 福利厚生（バザー）に関する業務 ・育成バザーの企画、運営 ・バザー運営委員会の企画運営 ・コーラス交歓会への参加 ・教育講演会・育成バザー・学校保健委員会への参加 ・ 参観日交通整理 ・ 読み聞かせへの参加			
厚生部 活動計画			
月	活動内容	月	活動内容
4	配属会議		
5	P T A 総会・引継ぎ会議 第1回常任・学年委員会へ出席 人権教育指導者研修講座 第1回バザー運営委員会 バザー手作り品作成寄付・活動 協力依頼のプリント配布 P T A コーラス練習	11	保健所に届け出提出 育成バザー前日準備 P T A 育成バザー 片付け・支払い
6	人権教育指導者研修講座 バザー手作り品作成開始 P T A コーラス練習	12	収支・会計報告
7	第1回学校保健委員会 P T A コーラス交歓会	1	
8		2	第3回学校保健委員会
9	第2回常任・学年委員会へ出席 育成バザー運営委員会 バザー予約注文書配布 予約券印刷・配布・集計	3	第3回常任・学年委員会へ出席
10	育成バザー運営委員会 業者発注 値付け・ラッピング・会場図作成 人権研修の日講座	4	

学年委員			
○ 学年 P T A 活動に関すること ・学年 P T A 活動の推進 ・全学年のベルマーク整理の参加 ・次年度の常任・学年委員の選出 ・環境整備に関すること（教室のカテン、足拭きマットの作成等） ・P T A の各役割担当 （3年：監査、4年：役員推薦委員、5年：学年委員委員長） ・卒業関連業務（6年） ・教育講演会・育成バザー・学校保健委員会への参加			
学年委員 活動計画			
月	活動内容	月	活動内容
4			
5	P T A 総会・引継ぎ会議 第1回常任・学年委員会へ出席 カーテンの作成 足拭きマットの作成 P T A コーラス練習	11	育成バザー前日準備 育成バザー当日手伝い
6	学年 P T A（1年, 2年, 4年） （1年給食試食会と兼ねる） ベルマーク整理（1, 2年） P T A コーラス練習	12	学年 P T A（3年） （学校保健委員会と兼ねる） 第2回学校保健委員会
7	学年 P T A（5年） （救命救急法研修と兼ねる） カーテン取外し・クリーニング P T A コーラス交歓会 第1回学校保健委員会	1	学年委員会
8	カーテン取り付け	2	常任・学年委員の選出 学年 P T A（6年） （卒業式関係準備と兼ねる） 第3回学校保健委員会 ベルマーク整理（3, 4年）
9	第2回常任・学年委員会へ出席	3	第3回常任・学年委員会へ出席 ベルマーク集計・送付・報告
10	ベルマーク整理（5, 6年） 人権研修の日講座	4	

地区委員			
○ 地区 P T A 活動に関する業務 ・通学路の安全点検 ・連絡網（緊急時連絡の学校との連携） ・安全関係会議へ出席 ・集団登校班の班編成（2月下旬） ・各地区当番票の作成 ・次年度地区委員の選出			
地区委員 活動計画			
月	活動内容	月	活動内容
4			
5	P T A 総会 第1回地区委員会へ出席 地区連絡網作成 危険箇所調査	11	
6		12	
7	第1回安全委員会へ出席	1	
8		2	集団登校班の班編成
9		3	第2回安全委員会へ出席 第2回地区委員会へ出席
10		4	

執行部・事務局			
○ P T A 全般の企画運営及び各委員との連絡調整に関すること ・総会の開催 ・常任、学年、地区各委員会の開催 ・役員会の開催 ・各種研修及び構内行事全般への協力 ・市、公民館主催の行事への参加（たく保関係） ・県、市小中学校 P T A 連合会関連 ・母親委員会 ・コーラス交歓会への参加 ・読み聞かせへの参加 ・参観日交通整理 ・教育講演会・育成バザー・学校保健委員会への参加 ○事務局 ・親父の会 ・役員推薦委員会 ・あいさつ・あんぜん・朝ごはん運動推進本部 ・防災キャンプ ・P T A 研修視察 ・ホームページの管理 ・学校保健委員会 ・ノーテレビ・ノーゲームデー集計			
執行部・事務局 活動計画			
月	活動内容	月	活動内容
4	配属会議		
5	P T A 総会・引継ぎ会議 第1回常任・学年委員会 第1回地区委員会 P T A コーラス練習 1人1ボランティア募集(上期) たく保会議 第1回母親委員会	10	P T A 研修視察
6	市小中 P 連合会総会 市 P 連母親委員会 管内 P T A 指導者研修会 第1回3校 P 連絡協議会 P T A コーラス練習 たく保会議	11	P T A 育成バザー 執行部役員選出アンケート 人権を考える集い 県 P 連研修大会 公民館・公民館祭り P 中国ブロック研究会 市小中 P 連主催教育講演会
7	第1回学校保健委員会 P T A コーラス交歓会 公民館第1回夜間巡回 さんさ祭り実行委員会 防災キャンプ	12	第2回学校保健委員会
8	親父の会（奉仕活動） 親子奉仕活動 公民館さんさ祭り	1	役員推薦委員会・学年委員会
9	第2回常任・学年委員会 第2回学年委員会 1人1ボランティア募集(下期) 市小中 P 連理事会 運動会	2	市 P 連母親委員会 第2回3校 P 連絡協議会 市小中 P 連理事会
10	地域ぐるみのあいさつ運動の日 P 中国ブロック研究会 市 P 連母親委員会	3	第3回常任・学年委員会 第2回地区委員会 第3回学校保健委員会 卒業式 たく保会議 公民館実行委員会
		4	入学式 新入生保護者 P T A 案内 常任委員配属会議

3 研究主題について

親と子、親同士のきずなを深める P T A 活動

少子高齢化、核家族化、情報化社会の進展、さらには共働き家庭の増加など社会の著しい変化により、かつて見られた向こう三軒両隣の人間につながりが希薄になっている昨今である。また、親子関係についても親の多忙さからかつてのような親密な関係にあるとは言い難く、親子関係の善し悪しの差も大きい。

このような人間関係が希薄化している現代社会を生きる子どもたちに自ら考え・判断し、行動する「生きる力」を育むことは必要不可欠で、我々親（大人）に課せられた責任でもある。

そこで、本校の子どもたちが現代社会をたくましく生き抜いていくために親に何ができるか、何をしなければいけないか模索したときに、まず考えたのが子どもたちの日常的な教育者である親同士がつながり、子育てのための知恵を出し合うことが必要であるということである。次に考えたのが大人と子どもがふれあう機会を設け、子どもの生きる力を育むということである。

これらをまとめると、親子（大人と子ども）、親同士がつながりをもち、それを深めることが子どもたちの「生きる力」の育成につながるということであり、研究主題を「親と子、親同士のきずなを深める P T A 活動」とした。

4 活動内容

(1) 防災キャンプ

① 目的

【児童】

いろいろな体験やビデオ・クイズなどを通して楽しく防災について学び、体育館に泊まる避難所体験や一緒にご飯を作る炊き出し体験をすることで、助け合いの気持ちを養い、災害に備える。

【保護者（P T A）】

防災キャンプの企画・運営を通して、親同士・P T A と児童・親と地域の絆を深め、より良い人間関係をつくる。

② 期日

平成24年7月21日（土）・22日（日）

③ 参加者（団体）

久保小学校児童62名（4・5・6年希望者）、久保小学校P T A、久保公民館、久保地区福祉協議会、下松市防災危機管理室、下松市消防本部、久保小学校教員

④ 内容

【1日目（7月21日）】

	自宅から避難所（久保小学校）まで徒歩
13：00	受付
13：45	オリエンテーション
14：00	開会式
14：30	防災学習Ⅰ（消火器体験・放水体験・煙体験）

16:00	防災学習Ⅱ（避難所（寝る場所）づくり）
17:00	炊き出し訓練（カレーライスづくり）
18:00	夕食
19:00	防災学習Ⅲ（災害のお話・防災クイズ・防災借物競争）
21:00	天体観測・就寝準備
22:00	就寝

【2日目（7月22日）】

6:30	起床
7:00	体操
7:30	朝食（非常食）
8:30	防災学習Ⅳ（バケツリレー）
9:00	防災学習Ⅴ（応急手当・担架搬送）
10:00	学習発表準備（班ごと（6班）に練習）
10:20	学習発表（班ごと（6班）に発表）
10:50	清掃・片付け
11:10	閉会式
11:30	解散

⑤ 活動の様子

【会場集合・オリエンテーション・開会式】



自宅から徒歩で久保小学校体育館に集合する。オリエンテーションではグループの発表があり、各グループの担当者（大人）から防災キャンプの意義や内容などについて説明を聞き、児童は2日間の防災キャンプの心構えをつくった。

【防災学習Ⅰ（消火器体験・放水体験・煙体験）】



一人ひとりが火元を示した看板に水消火器を向け、消火器の扱い方の実演をした。放水訓練では、消防車につながった消火栓を使って放水をした。煙体験では、下松市消防本部から煙体験ができるテントをお借りし、その中を通ることによって煙の中の行動の難しさを体感した。これらの活動は全て消防署員の指導の下で行った。

【防災学習Ⅱ（避難所（寝る場所）づくり）】



体育館にブルーシートと段ボールを使って避難所設営（寝場所作り）をした。指導者から作り方の説明を聞いた児童は、参加者全員で協力して避難所設営に取り組んだ。ブルーシートをはり、その上に段ボールを敷き詰め、囲いは段ボール箱を使った。この活動では、上級生が下級生に指示をしたり、手を貸したりと微笑ましい光景をたくさん目にすることができた。

【炊き出し訓練】



お米を災害用移動炊飯器で炊いた。災害用移動炊飯器に水をため、その中に非常用袋に入れたお米を入れ、それを沸かし、ご飯にした。各自が持ち寄った野菜を使ってカレーを作り、カレーライスを保護者の支援や見守りによって安全に作っていった。

【夕食】



夕食は炊き出し訓練で作ったカレーライス。ごはんは思った以上に上手にできており、カレーもおいしかったこともあって、おかわりをする児童が後を絶たなかった。児童は思い思いの場所で防災訓練の疲れを癒すかのように談笑しながら楽しくカレーライスを口に運んでいた。

【防災学習Ⅲ（災害のお話・防災クイズ・防災借物競争）】



下松市防災危機管理室の職員から「みんなでできる防災対策」のお話をいただいた。映像を使用したり、実物を見せたりしながらの説明であったので、児童にはとても分かりやすかったようだ。そのお話を受けて、いくつかのクイズを出題された。防災対策のお話の内容を定着させるには効果的で、児童は真剣に考え、答えていた。防災借物競争は、災害が起きたときどのような物が自分の身を守ってくれるのか、家族を守ってくれるかを考え、その物を身に付ける・手にする内容であった。実物を実際に身に付けたり、手にしたりした道具が必要なわけを職員の方に説明していただき、とても分かりやすかった。実生活につながる防災借物競争であった。

この防災学習は、下松市防災危機管理室の協力で実現した。児童だけでなく、保護者にとっても勉強になり、充実した時間であった。

【就寝準備・就寝】



男女の仕切りを段ボール箱でした。児童は体育館に敷いた段ボールの上で寝た。見守りは父親が中心となって交代で夜通し行った。

【体操・朝食】



起床後、参加者全員でラジオ体操を行い、その後、朝食を摂った。朝食メニューは、レトルトの五目ご飯などの具入りご飯、缶入りパン、カロリーメイト、飲み物であった。児童は非常食の味を堪能していた。

【防災学習Ⅳ（バケツリレー）】



父親たちがバケツリレーの見本を見せた後、グループごとにバケツリレーを体験した。児童は水をこぼさず相手に渡すことの難しさや何回も繰り返すことの辛さを体験することができた。

【防災学習Ⅴ（応急手当・担架搬送）】



下松市消防本部から応急手当、担架の作り方・担架搬送の仕方を学んだ。消防署員の丁寧な指導で参加者全員が心肺蘇生法やAEDの使い方を体験し、理解することができた。学校にも備え付けてあるAEDが何を目的にしているかということについても理解することができた。

【学習発表】



6グループに分かれてそれぞれが「災害が発生したときに、自分たちの身は自分たちで守る」このことをテーマに今回のキャンプで学んだことをまとめ、発表した。学んだことを口頭で発表したり、寸劇で発表したりとさまざまな方法で発表した。どのグループも様々な人から学んだ内容が十分に盛り込まれており、今回のキャンプが児童の防災意識高揚につながったことが確信できた。また、聴いている児童も真剣な態度で、他グループが何を発表するか興味津々であった。

【閉会式】



閉会式では、久保小学校校長先生をはじめ、お世話をしてくださった数名の方から感想や児童に望むことなどのお話をいただいた。

【久保小学校PTA、久保公民館、久保地区福祉協議会】

多くの方々や団体の協力・支援で無事終わることができた防災キャンプ。その方々・団体の活動のいくつかの紹介です。



受付をする母親



煙体験テントづくりをする父親



グループの責任者（父親）との顔合わせ



米の分量を計る PTA 会長



防災借物競争のお世話をする市職員



バケツリレーの見本を見せる父親



担架の作り方を指導する消防署員



大声コンテストの準備をする父親



キャンプの片付けをする父親達

⑥ 参加者の声

ぼくは、けむり体験が一番心に残りました。けむりをすわないようにハンカチで口を防ぎ、しせいを低くして動くように教わったけど、真っ白なけむりで前が見えない中を進むのは、本当に難しいと思いました。あと、体験のけむりにはおいがくさかったです。

本当の火事ときは、けむりで前が見えないだけでなく、目やのどがいたくなり、火のあつさでにげるのがもっと難しくなると聞いて、大変だと思いました。いざというときには、いろいろ学んだことを生かしたいと思いました。(男児)

防災キャンプでは、出かけている時に災害がおきたら「ここに集まる」という場所を考えておくことや、リュックサックに水、非常食、かいちゅう電灯とかん電池、薬やマスクなど必要なものを入れて準備しておくことが大切と学びました。

まだ、私の家ではそういう準備をしていません。だから、キャンプで教わったことを生かして、家族でしっかりと話し合いながら準備をしていこうと思います。(女児)

子どもたちに向けて・・・

皆さんが、2日間ケガなく無事に終えたことをとてもうれしく思います。

君たちのこれからの長い人生の中で予期せぬ災害が発生したときに、この2日間の体験がほんの少しでも生かしてもらえれば幸いです。

2日間お疲れ様でした。そして、ありがとう。(父親)

多くの子どもたちが「防災って何だろう?」「どんなことをすればいいのだろうか?」という思いで参加したのではないのでしょうか。

キャンプでは、防災について楽しみながらしっかり学ぶことができたと思います。また、実際に不自由な生活を体験することで、震災で被害を受けた方たちの大変さや自分たちが普通に生活できることへの感謝の気持ちに気づくことができたと思います。

2日間で学び体験したことを日々も生活に生かしてほしいと思います。(母親)

⑦ 成果

- 保護者・地域の方々が一緒に事前準備(企画・道具・関係機関への連絡)をしたり、キャンプを運営したりすることで保護者や地域の方々、さらには関係機関の方々とのつながりができた。
- 保護者が児童と関わることで、その子の良さや課題を知り、それを認めたり、支え励ましたりすることで、児童に自信をもたせることができた。
- 専門機関から指導に来ていただき、児童は専門的に防災について学ぶことができた。災害時に自分や家族は何をするべきかをその子なりに考え、実践意欲をもつことができた。

(2) P T A 研修視察

① 目的

研修視察で体験活動や町並み散策等を通して、親同士が親睦を深め、つながりをもつ。

② 期日

平成24年10月2日(火)

③ 参加者

久保小学校保護者30名 久保小学校教員 1名

④ 内容

安芸の宮島を視察

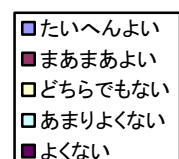
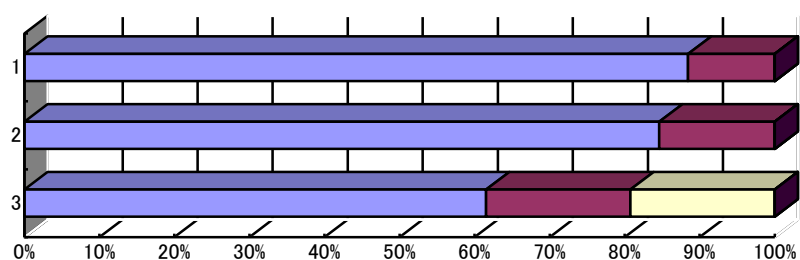
もみじ饅頭づくり 宮島島内散策

⑤ 活動の様子



⑥ アンケート結果

- 1 今回の研修視察に参加して良かったですか？
- 2 もみじ饅頭作りはどうでしたか？
- 3 会員同士の親睦を深めることができましたか？



⑦ 参加者の声

もみじ饅頭作りがとても楽しかったので、子どもたちを連れてまた行きたいと思います。バスの中でのレクリエーションのくじでカープタオルが当たったので、子どもが喜ぶ顔が浮かびます。来年も参加したいと思います。

保護者同士で行動をすることが少ないので、このような企画はよいと思います。とても楽しかったです。

行き届いた心遣いでとても楽しい研修視察でした。全員の方ともう少しお話ができたならよかったかなと思いました。

初めて参加しましたが、とても楽しく過ごせました。宮島でもう少し散策できたら・・・と思いました。来年もあれば、ぜひまた参加したいです。

⑧ 成果

- 参加者の中には初めて顔を合わせたという方もおられたが、バスの車中やもみじ饅頭作りで交流しながら、交友を深めることができた。
- P T A役員や役員でない方が交流することで、P T A役員に興味をもたれ、今後の役員選出に期待をもたせた。

(3) 読み聞かせ

① 目的

【児童】

保護者の読み聞かせを体験ことにより、本の楽しさやおもしろさを知り、読書活動に親しみをもつ。また、心を豊かに耕す。

【保護者（P T A）】

児童に読み聞かせをし、本の楽しさやおもしろさを体感させ、読書に親しみをもたせる。心豊かな子ども育成の一助とする。

② 活動日

【朝ポンタ】

各クラス毎週1回（朝学時間 8時20分～8時35分）

【本多たいむ】

各学年学期1回（授業時間 45分）

③ 参加者

本多クラブ会員	8名	P T A執行部	5名
P T A 1人1ボランティア			10名

④ 内容

【朝ポンタ】

保護者が児童に読み聞かせたい本を学年に応じて選書し、読み聞かせをする。

【本多たいむ】

教師の要望を聞き、それに基づいて選書し、読み聞かせをする。読み聞かせの本は教科に関わるものを選書する。（主に国語・社会・道徳）

【その他】

本多通信の発行。卒業生へのプレゼント作成。読み聞かせ事前研修の実施。

⑤ 活動の様子

【朝ポインタ】



朝学の時間に毎週1回、日にちを決めて、通常学級と特別支援学級の全学級で15分間の読み聞かせを実施している。選書は読み聞かせをする保護者がし、事前に何度も読みの練習を各自でしておき、当日に臨んでいる。

【本多たいむ】



1学期に1回学年ごとに教師と相談の上、読み聞かせの選書をする。読み聞かせの時間は45分で、授業の一環としてのものを読み聞かせている。

【掲示物】



校舎内のいろいろな所に『本多クラブ』勧誘のポスターを掲示している。参観日等で来校した保護者の目に付くようにかわいく、おしゃれに、わかりやすく等、目を引く工夫をしている。このポスターを見て、友達同士で誘い合って入会する保護者もおられた。これを見た児童が、母親に『本多クラブ』入会を勧めることもあるようだ。

⑥ 児童の感想

ポンタタイムの時、パネルシアターでつるつる頭のぼくしさんがすごくおもしろかったです。その時わたしが「すごくおもしろいなー」と言いました。そしたら〇〇さんが「ほんと、すごくおもしろい。」と言いました。楽しかったです。また聞きたいです。(2年)

5時間目にポンタタイムがありました。一ばんさいごにあったのがおもしろかったです。ねずみとねこといぬとうし、女の子と男の子と、ぼうずとにわとりとえさをあげている男の子がいました。みんなキャーキャーいってよろこんでいました。つぎのポンタタイムがたのしみです。(2年)

今日のポンタタイムで心に残った本は、「よくやったサーブ」です。理由は。飼い主の命を自分の体をぎせいにして飼い主を守ったからです。犬はすごいなと思いました。もし、あそこでサーブが出てなかったら飼い主の命はなかったと思います。わたしも、あの盲導犬サーブのような勇気・責任感のある人間になりたいです

次に、ブタが旅に出る本がおもしろかったです。自分のせいで、大切なものがなくなったから取り戻しに行く。これも勇気・責任だなと思いました。自分のこの心を大切にしたいと思いました

このように、本は人に感動を与え、心を変えてくれるすごいものだと思います。(5年)

⑦ 成果

- 本多クラブの読み聞かせにより、ほとんどの児童が本のおもしろさや楽しさを体感したり、生活に役に立つことや感動を与えてくれることを知ったりした。このことが本に目を向け、読書に親しむきっかけとなっている。
- 読み聞かせをしている保護者は、児童の聞く態度の真剣さや「おもしろかった。楽しかった。」「またお願いします。」等の言葉に感激し、児童のためにという意気込みを強くもち、読み聞かせのレベルが高まった。
- 読み聞かせ後の反省会で、読み聞かせ中の児童の様子や読み聞かせた本の情報交換ができ、親同士のつながりが以前より深まっていった。相談し合って選書をすることも増えた。

5 成果と課題

児童の「生きる力」育成のためには親同士がつながり、親と子が体験の共有化を図ることが必要であると考え、様々な活動を仕組んできた。その活動で得た成果と課題は次のようなことである。

【成果】

- 親と関わる体験活動を通して、児童は判断力や自立心、感謝の心など今後成長していく上で必要な力や心を体得できた。
- 親同士の協力体制、つながりが以前よりも増してきた。

【課題】

- P T A行事への参加者が固定化しがちであるので、実施後にP T A便りを作成して内容や児童の様子等を全家庭に発信することが必要である。
- 学校や児童の声も聞きながら、それを参考にした行事を企画する。